

池袋工場従業員

各位一同

中島常務取締役

當工場就業員諸君

私は昨晚諸君の嘆願書を拜見しました、其は諸君一同の意志であるか、一部の人達の希望であるかは、知りませんが、ごちらでもよろしい

其に就いて熟考中でありますから今御返事は申し上げられぬ

然し其の前に一應會社の事情と鐵工業の模様を諸君に承知して貰ひ度い

大正九年以來世界中が不景氣になつて我が國も矢張り其の間に入り免かれず、引續き今日に及で居ります、殊に鐵工業は一般の工業が不況である爲め一層其の打撃が甚しい地方の鐵工所は申迄もなく大阪の安治川口附近など工場の多い所へ行つて見るに立ちぢぐさりになつて居るものが少くない、東京は、あの大震災で五百近い工場が焼けて復興したものは其の一割か二割しかない其れ丈け工場が減つて居るのに仕事が少ない其れだのに造船所でも造る船の注文が少なく、止むを得ず何でも鐵で造るもの、仕事なら引受けるそれが又我々鐵工場を脅かす、此の不況の時に當つて苦しむものは鐵工業に従事するもの、鐵工の腕を持つもの、其に關係するもの、全体である吾々も亦諸君と共に此の苦しみを味つて居る

今吾々は諸君と共に服部製作所と云ふ一つ鍋の御飯を、とぼしいながら分けて生きて居るのである、其の鍋の借賃とも云ふべき株主の配當さへ、ろく／＼出来ない終末である、然し恐ろしいのは米になるべき仕事絶へることだ、まして誰一人として満腹のものはない。

丁度大風を、まごもに受けて路を歩いて居るやうなもので誰でも吹かれぬ譯にはゆかぬ、風にあたらぬ事は出来ぬ、鐵工就業者全体の困難であり、全体の不仕合である、此の際もつと満腹にさせる御馳走をしると鍋に小言を云つても其れは言ふ方が無理ではなからうか

鍋は壊しても一時さへ満腹したら其れでよい
他にもつこよい鍋があるよ云ふなら又話は別だ。お互に食べてゆく鍋を壊しても一時いや一刻も満腹にはなれぬ。

お互の鍋はお互に大切にしてお互に大きくして行かねばならないと思ふ、其れが『人間らしく生きて行く』只一つの途ではなからうか

其れが諸君と共にやがて幸福になるべき唯一一つの方法ではなからうか。一つ鍋の飯も食はない者にすゝめられたり一時の腹立まぎれに傷をつけるやうなことは慎まねばならぬ、お互に一人／＼の生きて行く大切な問題であつて、最も冷静に胸に手を置いて考へなければならぬことである當工場は鍋で吾々は諸君と共に此の鍋の御飯を食つて居るものであることを重て言ふ。

私は諸君と共に此の困難を凌いで必ず来るべき好況を辛抱して待つて居りたいと、一生懸命に大きな資本と其の信用を持つ造船所を向ふに廻して戦つて居るのである。其れで諸君に對し何の懸引や不誠意があるう、まして横暴があらう

一つの仕事に眼の色變へやつてうばいやゐをする同業者間の現状だ

製品の値段は従つて無理な競争から底のない程下るばかりである

然し今迄諸君と共に辛抱し合つて持ちこたへてきた此の鍋を壊されてお互に散り／＼バラ／＼になりたくはないと思つて無理でも無茶でも米であるべき仕事は絶やさず來た又絶さねつもりで努力しつゝある

諸君も骨が折れよう苦しくもあらう、然し此の鍋で生きる以上又止を得ないではなからうか、鍋の飯であるべき工賃も毎月平均參萬圓内外になつて居る

不足でもあらうが一斗の米からは一斗分の御飯しが出来ぬ、一斗の米で一斗以上の御飯の出来ぬを責めても之れは致し方はない、一斗の米は一斗五升に二斗に三斗に増して行くことをお互に計らうではないか

人の働いた汗の固りであるべき御飯の指圖は他人に受くべきでない、之れは最も眞面目な大切な事で鍋をはなれて御飯はない、御飯は働いたものゝみの分つべきものだ

然したき方が悪い火かげんがよくないよ云ふなら其れはお互の爲だ諸君の意見も聞いて研究し改善しよう

重て言ふ鍋と人とは別ではない、人あつての鍋鍋によつて人は働き得るものである